

平成 20 年 8 月 1 日

関係学部・研究科の長 殿
関係研究機関の長 殿
関係各位

名古屋大学大学院生命農学研究科
生物機構・機能科学専攻
専攻長 中村 研三

生物機能分化学講座（動物形態情報学研究分野）教授の公募について

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

下記の通り、名古屋大学大学院生命農学研究科生物機構・機能科学専攻では生物機能分化学講座（動物形態情報学研究分野）の教授を公募いたします。つきましては、貴機関の関係各位に周知方ご高配いただきたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外でも適任の方をご存知の場合は、その方にお伝えいただければ幸いです。

記

1. 選考方針

生物機能分化学講座は害虫制御学、資源昆虫学、水圏動物学、および動物形態情報学の4研究分野から構成され、哺乳類や鳥類、魚類、昆虫類などに内在する生命戦略を個体から分子にいたるレベルで総合的に研究することにより、新たな生物機能利用システムの開発とその制御を目指しています。動物形態情報学研究分野は、哺乳類と鳥類の生体構造を肉眼解剖学から分子形態学にいたる動物形態学の幅広いレベルで研究することにより生体機能の解明を進めてきました。

本公募では、哺乳類や鳥類を中心に動物形態学およびそれに関連する分野において優れた業績を有し、広い視野に立って当該の研究分野や講座などの研究のさらなる発展に貢献できる方を求めます。また、大学院と学部の教育ならびに管理運営に熱意と責任を持って携わる人が望まれます。

2. 応募方法

(1) 応募期限

平成20年9月30日(火)必着(書留・宅配便以外は受理いたしません)

(2) 応募先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科 生物機構・機能科学専攻

生物機能分化学講座(動物形態情報学研究分野)

教授選考委員会 委員長 宗宮 弘明

(問い合わせ等は e-mail にて委員長まで somiya@agr.nagoya-u.ac.jp)

3. 応募に必要な書類

- (1) 応募する旨を明記した書類(応募者の連絡先、電話番号、e-mail アドレスなどを含む)
- (2) 履歴書
- (3) 研究業績リスト(原著論文、総説、著書など)
- (4) 論文、著書などの別刷り(主要なもの 10 編程度、コピーでも可、これらは後日返却します)
- (5) 業績の説明(A4判、2,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと)
- (6) 教育と研究に関する抱負(A4判、2,000字程度)
- (7) 過去10年間の研究資金獲得状況(科学研究費補助金などの競争的資金。名称と金額および代表と分担の別を明記)
- (8) 応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先
- (9) 学協会活動状況

4. その他

- (1) 選考の過程で面接などをお願いすることがあります。
- (2) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。
- (3) 選考の過程は原則として研究科内公開ですが、個人情報保護法は遵守されます。
- (4) 着任時期は平成21年(2009)4月1日を予定しています。

【専攻および講座の紹介】

本講座は、害虫制御学、資源昆虫学、水圏動物学および動物形態情報学の4研究分野からなり、生物機構・機能科学専攻に所属しています。同専攻には他にバイオダイナミクス、分子細胞機構学および資源生物機能学の3講座があります。

動物形態情報学研究分野の教員が現在担当している主な科目は以下の通りです。

大学院：生命農学本論Ⅱの一部、生物機能分化学基礎講義の一部、生物機能分化学基盤実験の一部、生物機能分化学特論Ⅳ、生物機能分化学演習Ⅳ、生物機能分化学輪講Ⅳ

学 部：理系教養科目の一部、理系基礎科目の一部、分類・形態学の一部、動物組織・形態学の一部、資源生物科学セミナー、資源生物科学基盤実験実習の一部、資源生物科学実験実習の一部、専門セミナー、卒業論文

動物形態情報学研究分野は、現在教授0名(今回公募)、准教授1名、助教1名で構成されています。また、大学院学生3名、学部学生2名が在籍しています。